

拠出金名: フルブライト・メモリアル・プログラム拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(文部科学省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				712,000千円	
国際機関等名	日米教育委員会 (英文名称・略称) Japan-U.S. Educational Commission (JUSEC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	文部科学省大臣官房国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	382,000	0	0	円建て	0
平成18年度	450,030	0	0		0
平成17年度	535,183	0	0		0
当該拠出金の目的・用途等	米国人教員等受入れ事業及び日米両国教員による「環境」に関する共同研究の実施				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (平成18年度決算)	
	国名	金額 (千円)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	450,521千円
1位	日本	382,000	100.0	当該年度の支出	614,756千円
2位				次年度への繰越	115,934千円
3位				会計検査機関名	
4位				あらた監査法人	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>1949年から1979年まで、米国側の経費全額負担のもとに在日合衆国教育委員会が行ってきた日米間の研究者等の交流事業を継承し、1979年に日米双方の経費折半方式を原則とする協定が発効。これに基づく日米教育交流計画の実施機関として、日米教育委員会(JUSEC)は、日米間の学生、研究者の交流の促進に寄与してきている。また、この成果を評価するとともに、さらなる日米間の教育交流を促進すべく、1997年度からは我が国の拠出により米国人初等中等教育教員の我が国への招へい事業等を内容とする「日本フルブライト・メモリアル・基金(JFMF)事業」を実施している。</p> <p>同委員会は、日米同数の委員が対等の立場で議論することによる重要事項を決定しているほか、我が国の拠出金による事業は、日本政府の承認を経なければ事業が実施できないこととなっているため、JUSECの政策に対する我が国の意見は十分に反映されていると判断できる。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p> <p>より効率性の高い事業の実施等を行うための外部評価の導入等に努めており、合理化の改革は進んでいるものと評価できる。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	13人 うち 2人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	16人 81%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
事務局管理ディレクター(兼)日本フルブライト・メモリアル・基金(JFMF)管理ディレクター		安宅 孝			
フルブライト交流室マネージャー		岩田 瑞穂			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。